

# 地域県土警察常任委員会資料

(令和6年2月26日)

ページ

- 空き家利活用コンテスト2023の結果について  
【人口減少社会対策課】・・・2
- 山陰両県6団体によるJR西日本山陰支社へのダイヤ改正に係る要望実施について  
【交通政策課】・・・3
- 「ようこそようこそ鳥取県運動取組指針(改定案)」について  
【観光戦略課】・・・4
- 第5回鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議の開催結果について  
【観光戦略課】・・・6
- 国際航空路線の最近の動きについて  
【国際観光・万博課】・・・7
- 大阪・関西万博鳥取県魅力発信強化戦略会議の開催結果について  
【国際観光・万博課】・・・8
- 日・ジャマイカ外交関係樹立60周年記念式典への出席等について  
【交流推進課】・・・10

輝く鳥取創造本部

## 空き家利活用コンテスト2023の結果について

令和6年2月26日  
人口減少社会対策課

空き家を改修して、その魅力や利用価値を向上させ利活用している好事例を広く県内に周知し、空き家利活用に対する県民の意識醸成を図ることを目的として実施した「空き家利活用コンテスト2023」について、入賞事例を決定するとともに、1月30日に表彰式を行い、平井知事から受賞者の代表に表彰盾及び副賞を授与しましたので報告します。

### 1. 空き家利活用コンテスト2023の概要（※令和4年度から実施）

- ・募集内容： 県内で空き家を改修し、現在も利活用している以下の事例。  
①空き家を改修し、住宅として利活用している事例（住宅部門）  
②空き家を改修し、店舗や宿泊施設など非住宅の用途で利活用している事例（非住宅部門）
- ・応募条件： 県内の空き家（空き家になる前の用途が住宅で、1年以上活用がない建築物）で平成25年4月1日～令和5年3月31日までに改修工事が完了していること等
- ・募集期間等： 令和5年6月1日～9月8日  
・第1次審査（書面審査）：10月18日、  
・第2次審査（現地審査）：11月8日、10日
- ・応募件数： 11件（住宅部門4件、非住宅部門7件）
- ・審査等： 専門家等で構成する「空き家利活用・街なみづくり関連事業等審査会（委員：5名、委員長：来田裕子氏（くるた ゆうこ、鳥取県建築士会理事／(株)桜や建築設計工房代表)）」で書類審査及び現地審査を実施した。



### 2. 審査結果(入賞事例)

- 最優秀賞として住宅・非住宅部門毎に1事例、優秀賞として住宅部門で3事例、非住宅部門で6事例が選定された。
- 併せて、特徴のあった入賞事例に対し特別賞（テーマ賞）として「ベストDIY賞」「ベストアイデア賞」「地域貢献賞」が選定された。

#### <住宅部門>

区分	事例	受賞者	所在地
最優秀賞	村田邸	村田 周祐、奥田 達郎、高藤 宏夫	鳥取市
優秀賞 (ベストDIY賞)	SHIKANO HomeSTAY 吉井邸(しかの ほーむすてい)	吉井 秀三、御家族様	鳥取市 鹿野町
優秀賞 (ベストアイデア賞)	山邊邸	山邊 裕司	八頭町
優秀賞	Y邸	松本 晃一(福山建築)	倉吉市 関金町

#### <非住宅部門>

区分	事例	受賞者	所在地
最優秀賞	Goods & café みつくす	キミデザインスタジオ 株式会社 GOOD GROW	米子市
優秀賞 (地域貢献賞)	産前産後ケアハウスはぐはぐ	新和マネージメント株式会社 産前産後ケアハウスはぐはぐ	米子市
優秀賞	藍染工房ちずぶるー	株式会社 PLUS CASA	智頭町
〃	古民家 太田邸	株式会社 QUON 代表取締役 松井 成樹	八頭町
〃	しかの宿 本田中家	NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会 理事長 佐々木 千代子	鳥取市 鹿野町
〃	狐塚亭(こづかてい)	森本 萌、森本 咲	琴浦町
〃	Yashago Base(やしやごベース)	境港玄孫プロジェクト代表 都田 賢吾	境港市

※表彰式には最優秀賞と特別賞の受賞者が出席



<住宅部門 最優秀賞>



<非住宅部門 最優秀賞>

## 山陰両県6団体による JR 西日本山陰支社へのダイヤ改正に係る要望実施について

令和6年2月26日  
交通政策課

JR西日本より令和5年12月15日に令和6年春ダイヤ改正の発表が行われました。今後も鉄道利用の回復が見込まれることから、山陰エリアの鉄道の利便性向上について令和6年1月27日に鳥取県・島根県の6団体（県・市長会・町村会）で、JR西日本山陰支社に対し要望を実施しましたので概要を報告します。

- 1 日時 令和6年1月27日(土) 午前10時～午前10時30分
- 2 場所 JR西日本山陰支社
- 3 要望者 平井伸治鳥取県知事、丸山達也島根県知事  
伊達憲太郎鳥取県市長会会長代理、上定昭仁島根県市長会副会長、  
吉田英人鳥取県町村会会長、下森保島根県町村会会長代理
- 4 相手方 佐伯祥一 JR西日本理事山陰支社長



山陰両県6団体による要望

### 5 要望項目

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響が縮小して、貴社の経営状況が大幅に改善し、乗車人数が回復基調にある今こそ、令和3年秋及び令和4年春のダイヤ改正での減便について、速やかにダイヤの復便など見直しを行うこと。
- (2) ダイヤの改正などを行う場合には、利用者の利便性を低下させることのないよう、利用者はもちろんのこと、地元自治体への事前周知を十分に行い、理解を得られるよう努めること。
- (3) 鉄道施設の老朽化等を理由とした駅舎等の撤去や改修については、地域の事情に配慮し、慎重に検討した上で決定すること。  
なお、仮に行わざるを得ない状況となった時には、地域の十分な理解を得られるよう努めること。
- (4) コロナ禍後のインバウンド等の観光需要の回復や、令和7年に開催される大阪・関西万博は、山陰地域への誘客につながるまたとない機会であることから、観光振興や交流人口の拡大に寄与するため、沿線自治体と一緒に令和6年4月以降に順次導入される新型やくも号を含め伯備線の利用促進を図るとともに、利用者数が伸び悩む路線への観光列車の乗り入れなどによる利用拡大を図ること。
- (5) 鉄道は、地域住民や来訪者の重要な移動手段であると同時に、地域における暮らしや賑わいの拠点でもあることから地域が行う利用促進の取組や鉄道と連携したまちづくりの取組などに対して積極的な協力を行うこと。

### 6 JR西日本山陰支社発言要旨

- ・要望の内容については今後の利用状況等を踏まえ検討を深めていく。人口減少や高規格道路の整備など自動車を中心とした移動実態がある。引き続き、まちづくりの観点からの地域交通の位置づけについて議論をしてまいりたい。
- ・コロナが5類に移行し、旅行需要が着実に高まっており、特急列車は「やくも」の復便や「スーパーはくと」の増便など輸送改善を盛り込んでいる。大阪・関西万博や観光アプリ「tabiwa」の山陰エリア拡大、鳥取県東部地区のICOCA改札機の導入などの取組も控えているので今後も対話を通じてさらなる活性化に努力していきたい。

#### 【参考：R6.3.16 ダイヤ改正概要】

##### ○特急列車

- ・スーパーはくとの平日減便(1往復)を復活した上でさらに1往復増発し、全日8往復運転とする。うち6往復は大阪発着に変更。
- ・やくもの平日減便(3往復)を復活し全日15往復運転とする。また4月6日より新型車両がデビューし、6月までに全編成を投入予定。なお、検査等により現行車両にて運転する場合もあり。

##### ○その他

- ・観光列車「あめつち」は山陰本線(鳥取～出雲市)運行とあわせ、週末(1日1往復)を中心に山陰本線(鳥取～城崎温泉)にも運行区間を拡大する。

# 「ようこそようこそ鳥取県運動取組指針（改定案）」について

令和6年2月26日

観光戦略課

「ようこそようこそ鳥取県運動取組指針」の計画期間満了に伴い、県観光連盟理事会・有識者会議での議論を踏まえ、「ねんりんピックや大阪・国際万博を契機とした誘客促進・おもてなし向上」「高付加価値化」「消費額の拡大」「観光DX」等に取り組み、「持続可能な観光地づくりの推進」を目指すこととして、改定案を作成しました。

今後、議会やパブリックコメント等による意見を踏まえ、年度内の作成を予定しています。

## 1. 今回の改定の主なポイント（新たに位置づける項目）

### 取組指針に改定にあたって

ねんりんピックや大阪・関西万博などを通じて、来県者・観光客に対する県民の「おもてなしの心」の機運の醸成。

経済効果が極めて高い国内外の「高付加価値旅行者」を新たにメインターゲットに設定した誘客施策を推進する。

### 〈新〉テーマⅠ 持続的な観光地域づくりの推進

SDGsに基づき、観光産業の高付加価値化を図り、収益力を高めることで観光振興が地域経済に好循環を生む『持続的な観光地域づくり』を推進する。

- ・自然・歴史文化・食など地域固有の資源を活用した知的好奇心を満たすコンテンツの造成・磨き上げ
- ・観光ガイド・ホスピタリティ人材や地域コーディネータ人材・組織の育成
- ・観光資源の活用と保全の両立 ・ 観光DXの促進

### テーマⅡ 魅力ある観光地“鳥取”の形成

国際的リゾートホテル開業等を契機に「砂丘」「大山」「三徳山」など世界に誇れる観光資源を活用したアドベンチャーツーリズムの推進など魅力ある観光地“鳥取”の形成を促進する。

- ・鳥取市との連携協約に基づく「鳥取砂丘」の魅力向上・受入環境整備
- ・高付加価値なアドベンチャーツーリズムの推進
- ・「第2のふるさと（スナバ国）」の推進によるリピーターの獲得
- ・「鳥取うみなみロード」のNCR認定や県立美術館を軸にしたアートを通じた学びのある旅の推進

### テーマⅢ 国内誘客戦略

コロナ禍で加速したテレワークの普及や若年層を中心とした価値観の多様化を受け、ワーケーションや地域貢献型の旅など本県ならではの“新しい旅のカタチ”を提案し、リピーターを獲得していく。

- ・ワーケーションの受け皿づくりや県外企業との連携
- ・ターゲットに応じたSNSを活用した誘客プロモーションの強化
- ・フィルムコミッションの推進による魅力発信

### テーマⅣ インバウンド観光の推進

重点市場である韓国・香港・台湾、訪日数が上位の東南アジア、高付加価値旅行者層のシェアが高い欧米市場など多角的な誘客を推進するとともに、万博を契機としたインバウンド誘客を促進する。

- ・2025 大阪・関西万博を契機とした本県への誘客促進
- ・国際定期便の運航再開など空路・航路の拡充
- ・観光庁の事業を活用した高付加価値なインバウンド観光地づくりを推進

## 2. 「ようこそようこそ鳥取県運動指針（改定案）」の概要

- (1) 計画期間：令和6年度（2024年度）～令和9年度（2027年度）の4年間
- (2) 基本目標：「観光振興を通じた活力ある地域社会の形成」※基本目標は現指針から変更なし
- (3) 数値目標：

指標	現目標(R6)	改訂(R9目標)	R1実績	R4実績
観光入込客数	10,000千人	<b>11,000千人</b>	10,128千人	7,954千人
観光消費額(県外者・宿泊)	30,000円/人	<b>30,000円/人</b>	28,925円/人	30,823円/人
宿泊者数	2,800千人	<b>2,800千人</b>	2,368千人	1,565千人
再来訪者の割合(3回以上の訪問)	—	<b>70%</b>	65.6%	67.2%
外国人宿泊者数	270千人泊	<b>300千人泊</b>	185千人泊	13千人泊

#### (4) 取組指針の具体的内容

##### I 持続的な観光地域づくりの推進

- ① 地域一体となった観光地づくり、高付加価値化
- ② 観光資源の保全と活用
- ③ DMO を中心とした観光地域づくりの推進
- ④ 観光を担う人材育成と基盤づくり
- ⑤ 観光 DX の推進

##### II 魅力ある観光地“鳥取”の形成

- ① 鳥取砂丘を活用した「観光地 鳥取」の形成
- ② 霊峰「大山」のブランドイメージ形成とスポーツツーリズム推進
- ③ 「食のパラダイス鳥取県」の発信による観光誘客
- ④ 観光資源の磨き上げとアドベンチャーツーリズムの展開
- ⑤ 周遊性を高める仕組みづくりと情報・アクセスの整備
- ⑥ 誰もが安心して楽しめるユニバーサルツーリズムの推進
- ⑦ お客様の心に響くおもてなしの向上

##### III 国内誘客戦略

- ① 新たな形の旅の提案
- ② 誘客キャンペーンと戦略的な情報発信・誘客の展開
- ③ 広域観光の推進
- ④ MICE や教育旅行等誘致

##### IV インバウンド観光の推進

- ① 戦略的なプロモーションと情報発信の強化
- ② 航路の安定運行と多彩な玄関口
- ③ 受入環境の整備

### 3. 関係者等からの意見徴収

- ・鳥取県観光振興指針検討委員会（第1回：令和5年8月22日、第2回：令和5年10月13日）

【構成メンバー】鳥取大学地域学部地域学科 准教授 馬場 芳(ばんば かおり)

鳥取県観光連盟 会長 小谷 文夫(こたに ふみお)

日本旅行業協会中四国支部鳥取地区 委員長 久保島 宏(くぼしま ひろし)

鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合 おかみの会 監事 青木 由紀子(あおき ゆきこ)

リクルートじゃらんリサーチセンター中四国グループグループマネージャー 早瀬 雄一(はやせ ゆういち)

【主な意見】

- ・バス、タクシーは人出不足・採算の問題がある。レンタカーで周遊させる方策も必要
- ・観光DX化にあたっては、観光とデジタルに精通しマネジメントできる人材と地域・民間との調整を担う人材の確保・育成について官民あがての取り組みが必要
- ・近隣県からの入込客は大幅に減ることはないので、首都圏向けの取組を重点的にすべき
- ・高齢化に伴いシニア旅行が増えている。アクティブシニア以上の年齢層、平日を中心とした高齢者男性の旅行など幅広くニーズが高まっている傾向がある
- ・鳥取県観光連盟理事会（令和5年9月27日）
- ・鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合役員会（令和5年9月8日）

### 4. 今後のスケジュール

- ・3月1日（金）～3月14日（水）パブリックコメント実施
  - ・3月19日（火）パブリックコメントの結果報告
- ⇒年度内策定・公表

## 第5回鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議の開催結果について

令和6年2月26日

観光戦略課

官民が協働して県内サイクルツーリズムを推進するため、関係者が情報共有、意見交換等を行う「第5回鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議」を開催したので、次のとおり報告します。

**1 日時** 令和6年2月14日（水）午後1時～午後2時15分

**2 場所** ホテルモナーク鳥取（鳥取市永楽温泉町403番地） ※オンライン併用のハイブリッド開催

**3 出席者** 土井 一朗氏（鳥取県商工会連合会会長）、山下 眞里氏（とっとりサイクルツーリズムの会会長）、細羽 正氏（皆生温泉旅館組組合理事）、中山 孝一氏（鳥取県商工会議所連合会幹事長）、河野 明百氏（日本旅行業協会中四国支部鳥取地区委員長）、高橋 幸博氏（アドバイザー）、国機関（鳥取河川国道事務所等）、19市町村 ほか 計35団体・個人

### 4 概要

#### （1）協議事項等

- ・鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議に県内すべての市町村が参画いただき「サイクリストの聖地・鳥取県」の推進体制を充実させるとともに、規約を制定し目的や体制を明確化した。
- ・その他、サイクルツーリズム推進やナショナルサイクルルート指定に向けた取組状況の報告を行うとともに、今後のサイクルツーリズム施策展開に対して出席者からご意見を伺った。

#### （2）主な意見

- ・全市町村が参画したことでサイクルツーリズム推進の機運が全県に広がり、交流人口の拡大や地域活性化に向けてさらに取組が進んでいくことに期待している。鳥取県商工会連合会としても全県的に取組を進め、ナショナルサイクルルート（NCR）指定後を見据えて一緒になって頑張っていきたい。（鳥取県商工会連合会）
- ・矢羽根設置等に関して地元市町と意見交換しながら進めていきたい。（鳥取河川国道事務所）
- ・海岸線を走る鳥取うみなみロードから各圏域にサイクリストを引き込み、それぞれの地域の魅力に触れて周遊することができるサイクリングルートの設定などにより、地域活性化につなげていきたい。（湯梨浜町）
- ・日野郡3町の連携によりサイクルツーリズムの機運が高まってきたことから、町内でもコース提案などの積極的な動きが出てきた。今後も地域住民と一緒に取り組んでいきたい。（江府町）
- ・鳥取うみなみロードは山陰本線が並行しており、体力や経験に応じてサイクルトレインを組み合わせ、楽しみ方を広げることで、本県の特徴として打ち出していける。（大山町）
- ・イースタンドリーム号の7月運航再開に向けて韓国旅行社からの問合せが増えているが、ガイドできる人が少なくなっていることもあり、様々な方からのご協力をお願いしたい。（鳥取県サイクリング協会）
- ・鳥取うみなみロード沿線だけではなく地域の取組として、日野郡3町におけるルート設定や自転車活用推進計画の策定の動きに注目している。県東部・中部の市町においても、是非、それぞれの地域で同様な取組を検討して欲しい。（アドバイザー）

### 5 今後の予定

- ・鳥取うみなみロードについては、令和5年2月に策定した「鳥取うみなみロード整備計画」に基づく環境整備について、国や市町村、民間事業者等と連携しながら、令和6年度中に整備を完了させる。
- ・ナショナルサイクルルート指定に向けた挑戦をひとつの契機として、行政や関係団体など様々な主体が、それぞれの地域で進めるサイクルツーリズムや自転車活用の取組について密に情報共有し、これまで以上に連携を図り、全県域で自転車を活用した交流人口の拡大、地域活性化につなげていく。

# 国際航空路線の最近の動きについて

令和6年2月26日  
国際観光・万博課

県内空港における国際航空路線の最近の動きを次のとおり報告します。

## 1 米子ソウル便

運航再開後の利用実績は、89.6%(10月)、87.2%(11月)、90.7%(12月)、83.4%(1月)と好調を維持しています。引き続きエアソウルや韓国旅行会社、メディアと連携したプロモーションを強化するとともにエアソウルに増便を働きかけていきます。

### 【2023年10月～2024年1月利用実績（エアソウル米子支店提供）】

	提供座席数	総搭乗者数	韓国人搭乗者数	日本人搭乗者数	搭乗率
10月	1,170席	1,048人	688人	349人	89.6%
11月	5,170席	4,506人	2,900人	1,551人	87.2%
12月	5,660席	5,131人	3,981人	1,104人	90.7%
1月	5,470席	4,564人	3,927人	606人	83.4%

- (1) 運航区間：仁川国際空港－米子鬼太郎空港
- (2) 運航回数：週3日（水・金・日）
- (3) 航空会社・機材：エアソウル、A321-200（座席数195席）

### 【今後の主なプロモーション】

[インバウンド対策]

- ・韓国TVホームショッピングによる追加の旅行商品販促（2月）
- ・夏向け旅行商品造成に向けた韓国旅行会社の招聘（3月） ほか

[アウトバウンド対策]

- ・地元メディアが主催するイベントに国際定期便利用促進協議会として出展し、同会場で実施の韓国物産フェアなどと連携して米子ソウル便の路線周知を実施（3月）
- ・民間交流団の相互往来やビジネス交流の働きかけの実施（3月） ほか



江原道交流ツアー

## 2 米子香港便

12月18日の運航再開後の利用実績は、12月：67.8%、1月：51.4%です。2月26日で一旦、季節定期便の運航が終了しますが、引き続き、プロモーションを強化し、通年で運航いただくよう航空会社や旅行会社に働きかけていきます。

- (1) 区間：香港国際空港－米子鬼太郎空港
- (2) 期間：12月18日（月）～2月26日（月）週4日（月・水・金・日）
- (3) 航空会社・機材：香港航空、A320-200（座席数174席）

### 【今後の主なプロモーション】

- ・香港の旅行会社と連携した魅力的な夏用観光素材の旅行会社への提案
- ・F I T層の夏季の誘客促進に向けたインフルエンサーF A Mツアー ほか



香港旅行会社と連携した米子香港便特別セール

## 3 台湾チャーター便

秋季（10月～11月）に続き春季の連続チャーター便が鳥取砂丘コナン空港に就航する予定です。昨年の春、秋に続きチャイナエアラインが就航するものであり、チャーター便就航の実績を積み上げることで台湾からの定期便就航を目指します。

### 【チャーター便概要】

- (1) 区間：台湾・桃園（とうえん）国際空港－鳥取砂丘コナン空港
- (2) 運航日：3月27日、31日、4月4日、8日  
※お客様は3月27日、31日、4月4日の便のみ搭乗。
- (3) 便数：4往復 ※インバウンド専用チャーター
- (4) 航空会社・機材：チャイナエアライン、B737-800（座席数158席）
- (5) 主催旅行社：台湾鳳凰(フェニックス)旅行社



秋の台湾チャーター便歓迎の様子

## 大阪・関西万博鳥取県魅力発信強化戦略会議の開催結果について

令和6年2月26日  
国際観光・万博課

大阪・関西万博に向けて、本県の魅力を国内外に発信するとともに、誘客、物産振興等を推進するため、市町村や関係機関等官民一体となって具体の事業を検討していく「大阪・関西万博鳥取県魅力発信強化戦略会議」を開催したので、次のとおり報告します。

- 1 **開催日時** 令和6年2月15日（木）午後3時～午後4時
- 2 **開催場所** ホテルニューオータニ鳥取 ※オンライン併用のハイブリッド開催
- 3 **出席者** 伊坂明氏（鳥取県観光連盟副会長）、中山孝一氏（鳥取県商工会議所連合会幹事長）、米田裕子氏（鳥取県商工会連合会専務理事）、山陰インバウンド機構、19市町村、県
- 4 **概要**
  - ・関西パビリオン「鳥取県ゾーン」展示や万博会場での催事開催、修学旅行での万博訪問等について現在の状況等を説明し、市町村や関係機関と連携して推進していくこととした。
  - ・県内の伝統行事、食、アドベンチャーツーリズム等の地域の魅力である観光コンテンツを市町村等から提供してもらい、大阪・関西万博等を契機とした誘客に向け鳥取県を万博のサテライト会場「とっとりリアル・パビリオン」として、情報発信等を進めていくこととした。
- 5 **万博に係る取組状況等**
  - (1) **関西パビリオン「鳥取県ゾーン」**

現在、基本計画に基づき実施計画作成中。鳥取県ゾーンにおいて県内への誘客に向けた情報発信を進めていく。（来年度当初予算に展示制作・施工費等を提案）
  - (2) **とっとりリアル・パビリオン**

鳥取県を万博のサテライト会場「とっとりリアル・パビリオン」と銘打って、県内の伝統行事、食、アドベンチャーツーリズム等、地域の魅力である観光情報をポータルサイト等で市町村等と一体となって国内外に発信していく。（来年度当初予算にポータルサイト構築費等を提案）
  - (3) **万博会場での催事開催**
    - ・EXPOホール〔定員：2千人、実施時期：7～8月で調整中。1日間〕  
県ゆかりの著名人等によるトークショー、市町村等と連携した郷土芸能ステージを実施検討。
    - ・関西パビリオン「多目的スペース」〔実施時期：7～8月で調整中。2週間（1週間×2回）〕  
市町村や県内企業による物産展や産業展示等を実施検討。  
（来年度当初予算に実施計画作成費等を提案）
  - (4) **教育分野での万博理念の普及**

万博理念であるSDGsの学習等について、県内学校での取組を市町村に要請していく。  
（専用教材を用いた授業実施、修学旅行での万博訪問）
  - (5) **企業・団体等の万博理念実現への協力**
    - ・企業・団体等が万博理念であるSDGsの達成に貢献する取組に参画するよう協力依頼。（推進事業者は博覧会協会に登録され万博公式HP等で紹介。県内登録状況 9件）
    - ・鳥取県発の産業技術、製品等を発信するとともに県内企業のSDGsの取組等を紹介する「とっとり産業未来フェス」を令和6年度開催。（来年度当初予算に開催費を提案）
  - (6) **国際交流プログラム**

万博期間中はジャマイカのナショナルデーにおけるイベントを共同実施することとし、令和6年度に相互往来等によりジャマイカの文化等を理解する交流事業を実施する。（来年度当初予算に交流事業費を提案）
  - (7) **機運醸成**

県庁議会棟等に横断幕設置、県内主要駅で啓発チラシ等の配布等を実施。今後も機会を捉えて機運醸成を進めていく。（来年度当初予算に機運醸成費を提案）

# 関西パビリオン鳥取県ゾーン（導入展示）の概要

【導入展示ゾーンイメージ】 まんが王国3巨匠のキャラクター像や風紋を施した巨大な壁で来場者を迎え、メイン展示ゾーンへの期待感を高める

**鳥取県観光ウォール**  
実物展示を交え、県内の観光情報を網羅  
QRコードを使って、観光情報を持ち帰り

**メインウォール**

**まんが王国とっとり紹介ウォール**  
まんが王国とっとり取り組みや作品グッズなど情報を発信

**まんが王国とっとり立体像**  
まんが王国とっとりを代表する3巨匠のキャラクター立体像で来場者をお出迎え



# 関西パビリオン鳥取県ゾーン（メイン展示）の概要

【メイン展示ゾーンイメージ】 **鳥取無限砂丘**

- メイン展示ゾーンの床面に虫眼鏡デバイスをかざすことで、ARマーカを読みとり観光・グルメ・工芸など鳥取県の魅力アイテムを発見
- アイテムを集める特典（体験ツアー招待や特産品プレゼントなど）を提供

【プロジェクション映像による砂丘の疑似体験】  
砂丘が赤く染まる夕方から星取県の満点の星空、朝焼けに映える美しい風紋を床面にプロジェクションマッピングで再現。（上映頻度：15分に1回1分程度）



## 日・ジャマイカ外交関係樹立60周年記念式典への出席等について

令和6年2月26日  
交流推進課

日本とジャマイカの外交関係樹立60周年を記念した「日・ジャマイカ外交関係樹立60周年記念式典」に平井知事及び浜崎県議会議長が出席するとともに、外務省賓客として来日していたジャマイカ外務・貿易大臣との面談を行い、本県とジャマイカの今後一層の交流推進を確認しました。

今後も引き続き姉妹自治体であるウェストモアランド県（以下、ウ県）を中心としたジャマイカとの交流を進め、2025年の大阪・関西万博及び東京世界陸上を契機とした更なる交流の機運醸成を図ります。

### 1 日・ジャマイカ外交関係樹立60周年記念式典

- (1) 日 時 令和6年2月8日（木）午後6時30分から8時30分まで
- (2) 場 所 The Okura Tokyo（東京都港区虎ノ門2丁目10-4）
- (3) 主 催 駐日ジャマイカ大使館（日本国外務省共催）
- (4) 出席者  
[ジャマイカ] カミナ・ジョンソン＝スミス外務・貿易大臣、ショーナ・ケイ・リチャーズ大使  
[鳥取県関係者] 平井伸治知事、浜崎晋一県議会議長、赤澤亮正財務副大臣ほか  
[その他国内外] 柘植芳文外務副大臣、猪口邦子日・カリブ友好議員連盟事務局長、  
その他国会議員、各国の駐日大使、関係企業ほか 約150人が参加
- (5) 内 容
  - ・リチャーズ大使が式典冒頭の歓迎挨拶の中で、日本とジャマイカのパートナーシップにおける絆の象徴の1つとして、本県との交流を紹介した。
  - ・知事が乾杯挨拶の中で、2回の世界陸上（2007大阪大会、2015北京大会）の事前キャンプを縁に始まったウ県を中心とする本県のジャマイカ交流について紹介するとともに、2025年に開催される東京世界陸上や大阪・関西万博に向けて、ジャマイカとの更なる交流を推進していくことを参加者に向けてPRした。
  - ・知事乾杯挨拶の後、これまでジャマイカ交流を積極的に行っている県立岩美高校吹奏楽部が「名探偵コナンのテーマ」で本県をアピールするとともに、ジャマイカの名曲「One Love」等を演奏して会場を盛り上げ、参加者から拍手喝采を浴びた。



知事による乾杯挨拶



議長から大使へ記念品贈呈



岩美高校による演奏



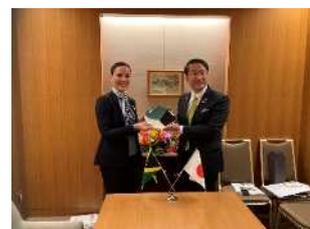
記念式典会場の様子

### 2 ジャマイカ外務・貿易大臣との面談

- (1) 日 時 令和6年2月8日（木）午後4時30分から5時まで
- (2) 場 所 The Okura Tokyo（同上）
- (3) 出席者  
[ジャマイカ] カミナ・ジョンソン＝スミス外務・貿易大臣ほか  
[鳥取県関係者] 平井伸治知事、浜崎晋一県議会議長ほか
- (4) 内 容
  - ・ジョンソン＝スミス外務・貿易大臣から、本県のウ県を中心としたジャマイカとのこれまでの交流に対する労いの言葉をいただいた。
  - ・知事からは、2025年の大阪・関西万博を契機としたジャマイカとの更なる交流推進について、議長からは、同年の東京世界陸上における本県での事前キャンプの実施について、本県の熱い思いを伝え、今後一層の交流の深化について意見交換した。



大臣と知事・議長との面談



知事から大臣へ記念品贈呈